

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県川西市 川西市立総合医療センター

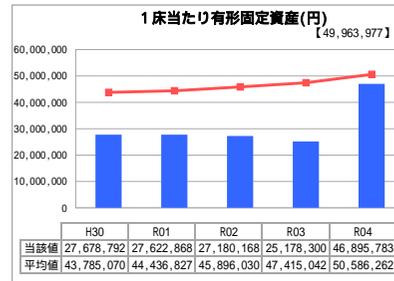
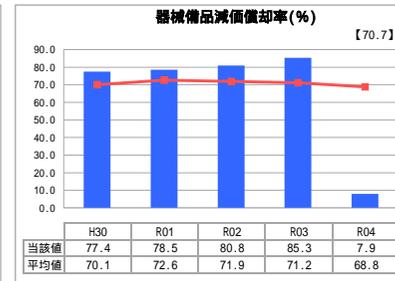
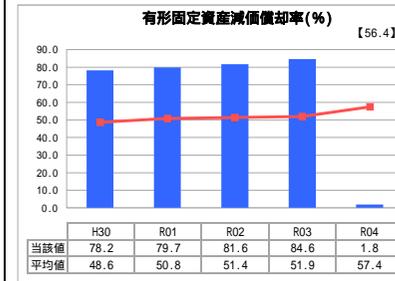
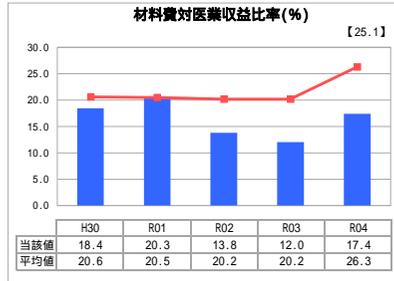
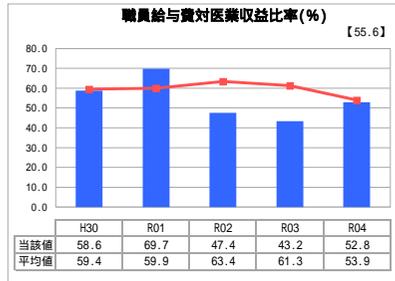
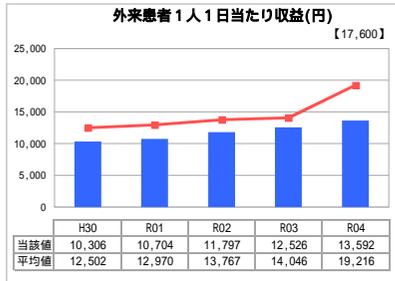
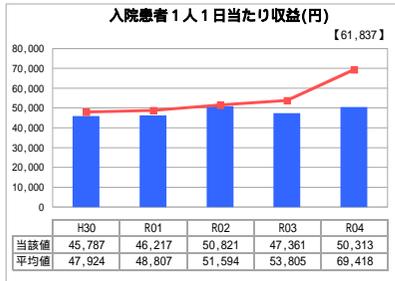
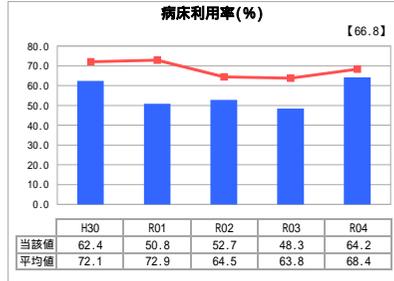
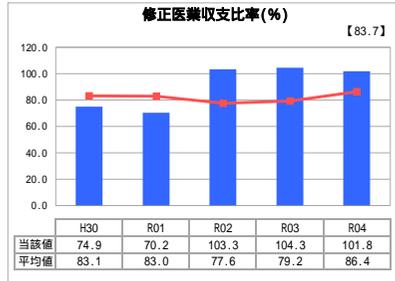
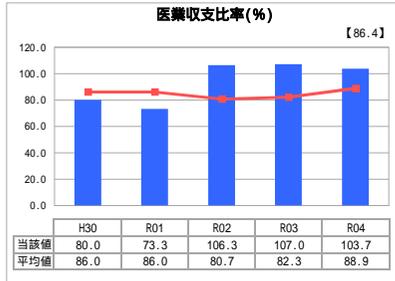
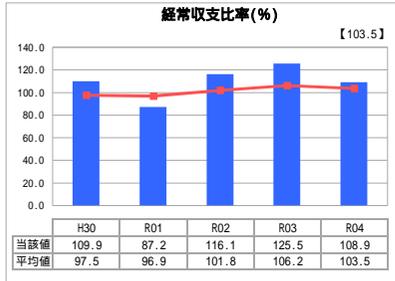
法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 1	指定病院の状況 2
指定管理者(利用料金制)	28	対象	-	救 臨 地 輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
155,098	36,619	非該当	非該当	7:1

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
405	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	405
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
396	-	396

グラフ凡例
当該病院値(当該値)
類似病院平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

- ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
- 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)		
機能分化・連携強化 (従来の閉鎖・ネットワーク化を重視)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
令和4年度	-年度	令和元年度

地域において担っている役割
市民の命と健康を守り、安心して安全な医療を提供していくために、小児・周産期・救急医療などの政策医療を担うとともに、市内に不足している高度急性期医療の一部を担っている。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について
経常収支比率は108.9%で前年度から16.6ポイント減少した。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応するため感染症専用の病棟を設置し、一般の入院患者の受入れを制限する中、病床利用率は市立川西市病院では低下していたが、令和4年9月の川西市立総合医療センターの開院により、コロナ感染症専用病床を確保する中でも、全室個室のメリットを活かして入院患者数が増加し、全体では上昇したが、総合医療センター開院に伴う経費の増加や、前年度に比べ新型コロナウイルス患者用の空床確保に伴う補助金が減少したこと等が影響した。

2. 老朽化の状況について
市立川西市病院は令和4年8月に閉院及び移転し、川西市立総合医療センターとして9月に開院した。今後は、長期修繕計画に基づき、適切な時期に計画的な施設・設備の保全、修繕工事等を行っていく。

全体総括
新型コロナウイルス感染症への対応については、発熱外来の実施や、コロナ専用病床を確保するとともに、他病院では受け入れ困難な小児や妊婦の受け入れなどにも対応するなど、公立病院として医療の提供に努めた。
令和4年9月には川西市立総合医療センターが開院し、施設や設備が新たに更新された。開院初年度における平均病床利用率は目標の70%を達成している。続く令和5年度では、平均病床利用率の目標を91%に設定しており、全室個室の特徴を活かした適切なベッドコントロールを行っていく必要がある。
今後も指定管理者と共に、安定した経営のもとで、小児、周産期、救急などの政策医療に取り組み、高度急性期病床を一定確保し、医療の圏域内完結率の向上を図る。

「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。